



## 2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月10日

上場会社名 株式会社 リンガーハット 上場取引所 東 福  
 コード番号 8200 URL https://www.ringerhut.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福原 扶美勇  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理担当 (氏名) 峰松 浩一 TEL 03-5745-8611  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	11,439	2.9	599	51.0	527	14.9	342	6.7
2026年2月期第1四半期	11,114	6.4	397	5.7	458	50.5	321	58.3

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 309百万円 (2.9%) 2026年2月期第1四半期 300百万円 (29.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	13.23	—
2026年2月期第1四半期	12.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年2月期第1四半期	32,712	15,357	46.9	592.65
2026年2月期	31,124	15,231	48.9	587.75

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 15,357百万円 2026年2月期 15,231百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	6.00	—	7.00	13.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	6.00	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	23,170	3.4	900	13.9	820	△2.9	470	△8.0	18.13
通期	47,300	4.9	2,200	55.1	2,040	27.6	1,200	△30.5	46.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) -、除外 ー社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年2月期1Q	26,067,972株	2026年2月期	26,067,972株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	153,653株	2026年2月期	153,570株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年2月期1Q	25,914,343株	2026年2月期1Q	25,912,144株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 本資料のサマリー情報、【添付資料】「経営成績に関する説明」及び「セグメント情報等」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
3. 補足情報 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、高い賃上げ率による所得環境の改善が進んだことにより、景気は緩やかな回復基調にあります。その一方で、個人消費は物価高騰により伸び悩んでいる状況が見られます。また、中東情勢による地政学上のリスクや米国政策が及ぼす影響など、不安定な国際情勢により先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、外食需要は回復しつつあるものの、原材料費・光熱費の高騰や人件費の上昇など、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは国産野菜の使用など、食の「安全・安心・健康」に継続して取り組むとともに、『全員参加で、成長へのアクセルを踏み込もう』をスローガンに、企業価値向上に努めてまいりました。今期よりスタートした中期経営計画（2026～2028年度）のもと、目標達成に向け全社員一丸となって施策に取り組んでおります。

食育活動では、カンボジアとベトナムの2店舗でお子様向けの食育活動を海外で初めて実施いたしました。食育活動を通してリンガーハットのブランドを大勢の方に知っていただけるように尽力して参ります。

出退店につきましては、国内2店舗を出店し、海外1店舗を退店した結果、当第1四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内629店舗、海外13店舗の計642店舗（うちフランチャイズ店舗152店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は114億39百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は5億99百万円（前年同期比51.0%増）、経常利益は5億27百万円（前年同期比14.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億42百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### （長崎ちゃんぽん事業）

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、3月から夏の定番である冷やし商品の販売を開始し、「麻婆なすの冷やしちゃんぽん」と「梅肉と豚しゃぶの冷やしめん」を全国で展開しました。また、東日本では「麻婆なすの麻辣湯ちゃんぽん」、西日本では「牛肉ちゃんぽん 青唐スープ」を販売するなど、エリアごとに辛みが特徴の温かい商品を提供しました。

出退店につきましては、国内2店舗を出店し、海外1店舗を退店した結果、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で547店舗、海外で10店舗、合計557店舗（うちフランチャイズ店舗136店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は104.3%となり、売上高は93億72百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は5億33百万円（前年同期比57.2%増）となりました。

#### （とんかつ事業）

「とんかつ濱かつ」では、季節商品として昨年販売し好評でした「アスパラと大葉の重ねかつ」の御膳3種類とランチメニュー1種類を販売いたしました。これらの商品は、国産のアスパラガスのフライと人気商品の重ねかつに大葉が入った商品となっております。5月からは「長崎産あじふらい御膳」を期間限定の新商品として販売しております。また、地域限定商品として「トマト肉巻きかつ」を販売しております。

当第1四半期連結累計期間末の店舗数は国内で82店舗\*、海外で3店舗、合計85店舗（うちフランチャイズ店舗16店舗）となりました。（\*和食業態の長崎卓袱浜勝を含む）

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は102.3%となり、売上高は20億11百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は60百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、4億52百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益47百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億88百万円増加し327億12百万円となりました。これは主に現金及び預金が12億11百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ14億61百万円増加し173億54百万円となりました。これは主に設備投資資金として長期借入金を22億円調達したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ1億26百万円増加し153億57百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億60百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の連結業績予想につきましては、2026年4月10日に発表した前回予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,375,178	3,586,797
売掛金	1,784,283	1,970,544
商品及び製品	192,821	128,387
仕掛品	99,781	98,294
原材料及び貯蔵品	389,123	472,905
前払費用	299,012	377,294
未収入金	858,236	1,016,469
その他	221,831	242,605
貸倒引当金	△68,939	△65,020
流動資産合計	6,151,331	7,828,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,056,330	9,985,254
機械装置及び運搬具(純額)	1,419,501	1,378,194
土地	5,811,467	5,811,467
リース資産(純額)	36,944	32,521
建設仮勘定	70,528	94,723
その他(純額)	1,199,997	1,230,170
有形固定資産合計	18,594,770	18,532,332
無形固定資産	402,164	388,280
投資その他の資産		
投資有価証券	1,355,217	1,265,999
繰延税金資産	1,132,019	1,167,969
退職給付に係る資産	119,955	126,679
差入保証金	829,955	843,099
建設協力金	42,457	40,798
敷金	2,248,644	2,261,279
その他	247,543	257,360
投資その他の資産合計	5,975,793	5,963,185
固定資産合計	24,972,727	24,883,798
資産合計	31,124,058	32,712,076

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	922,074	896,585
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,300,660	2,751,064
リース債務	57,607	57,662
未払金	815,532	645,683
未払費用	1,523,615	1,868,322
未払法人税等	216,421	159,152
未払消費税等	470,811	445,205
株主優待引当金	108,592	93,454
店舗閉鎖損失引当金	—	3,500
資産除去債務	5,117	14,492
その他	476,319	510,730
流動負債合計	7,096,751	7,445,852
固定負債		
長期借入金	5,166,558	6,267,591
長期未払金	24,249	23,997
リース債務	146,151	141,886
株式給付引当金	112,863	112,863
退職給付に係る負債	1,074,100	1,090,831
長期預り保証金	285,367	283,367
資産除去債務	1,888,247	1,887,296
繰延税金負債	89,190	89,209
その他	9,420	11,179
固定負債合計	8,796,149	9,908,224
負債合計	15,892,900	17,354,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	2,193,474	2,193,474
利益剰余金	3,694,025	3,854,522
自己株式	△338,059	△338,243
株主資本合計	14,552,203	14,712,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	781,375	719,717
為替換算調整勘定	△194,731	△152,284
退職給付に係る調整累計額	92,310	78,050
その他の包括利益累計額合計	678,954	645,483
純資産合計	15,231,157	15,357,999
負債純資産合計	31,124,058	32,712,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	10,906,305	11,230,447
売上原価	3,855,795	3,838,684
売上総利益	7,050,510	7,391,763
その他の営業収入	207,873	209,301
営業総利益	7,258,383	7,601,064
販売費及び一般管理費	6,861,095	7,001,245
営業利益	397,288	599,818
営業外収益		
受取利息	1,492	3,098
受取配当金	438	365
為替差益	758	—
受取補償金	65,139	—
補助金収入	—	8,652
その他	38,271	3,153
営業外収益合計	106,102	15,270
営業外費用		
支払利息	28,819	35,349
為替差損	—	36,903
リース解約損	1,317	335
支払手数料	10,842	10,041
その他	3,495	4,976
営業外費用合計	44,475	87,607
経常利益	458,915	527,481
特別利益		
固定資産売却益	—	443
特別利益合計	—	443
特別損失		
固定資産除却損	195	7,087
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	3,500
減損損失	28,188	50,282
特別損失合計	28,383	60,869
税金等調整前四半期純利益	430,531	467,056
法人税等	109,110	124,099
四半期純利益	321,421	342,957
親会社株主に帰属する四半期純利益	321,421	342,957

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	321,421	342,957
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	30,301	△61,658
為替換算調整勘定	△47,168	42,447
退職給付に係る調整額	△3,920	△14,260
その他の包括利益合計	△20,786	△33,471
四半期包括利益	300,634	309,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,634	309,485

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	465,812千円	508,721千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	9,090,772	1,973,194	50,212	11,114,179	—	11,114,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	413,376	413,376	△413,376	—
計	9,090,772	1,973,194	463,588	11,527,555	△413,376	11,114,179
セグメント利益	339,637	54,718	50,553	444,908	△47,620	397,288

(注) 1. セグメント利益の調整額△47,620千円には、セグメント間取引消去△24,262千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23,357千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中の減損損失の計上額は28,188千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	9,372,198	2,011,027	56,522	11,439,748	—	11,439,748
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	395,849	395,849	△395,849	—
計	9,372,198	2,011,027	452,371	11,835,597	△395,849	11,439,748
セグメント利益	533,982	60,278	47,833	642,095	△42,276	599,818

(注) 1. セグメント利益の調整額△42,276千円には、セグメント間取引消去△13,941千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△28,335千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中の減損損失の計上額は41,368千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中の減損損失の計上額は8,913千円であります。

## 3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2027年 2月期	売上高 (百万円)	7,811	2,089	9,901	1,839	400	2,240	731	56	12,929
第1四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	421	136	557	69	16	85	—	—	642
2026年 2月期	売上高 (百万円)	7,509	2,051	9,560	1,789	414	2,203	765	45	12,575
第1四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	423	138	561	70	17	87	—	—	648
対前年比率	売上高	104.0%	101.9%	103.6%	102.8%	96.9%	101.7%	95.6%	124.5%	102.8%
	店舗数	99.5%	98.6%	99.3%	98.6%	94.1%	97.7%	—	—	99.1%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粋比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。